日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2014.12.25

No.14 -065

安全で明るい JAL

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

日本航空経営は
話し合いによる解決を！！

日本航空では２０１０年から続く乗員の流出が止まりません。

２０１３年度までに機長（Capt）５５名、副操縦士（FO） 76 名、２０１４年に入ってから１２月までに更に CAPT12 名,FO ３名が退職しています。

トータル CAPT６７名、FO７９名、JAL 関連全体では 170 名を超える乗員が会社を辞めています。

このままでは今後の事業計画も懸念されています。

B787 乗員部では乗員不足による VAC 返却調整を通告しており、職場は、高稼働状況に疲労が蓄積され、安全運航が心配されています。

今冬から、 経営は乗員不足の補完として 2015 年度から加齢乗員の採用を計画していて組合と協議中です。

整理解雇された乗員数は８１名、加齢乗員の採用まで計画するなら、なぜ解雇した乗員を戻さないのか？

日航経営の頑なに自主解決を放棄する姿勢・対応は、誰が見ても「道理」に合いません。

今こそ、経営はメンツにこだわらず、二度にもわたる ILO の

勧告に従い、解決に向けた話し合いを開始すべき時ではないでしょうか！？

関連:乗員速報にリンク

乗員速報６１－０９８：11 月 11 日経営協議会報告

乗員速報６１－０９９：もう、いい加減にして下さい・

乗員速報６１－１０２：12 月 15 日執行委員会見解

枠内をクリックするとニュースがご覧になれます。

今後も

カンパ支援・最高裁への署名

取り組み参加

宜しくお願い致します

今後の日程

宣伝行動・各地集会：原告団HP日程参照

最高裁への署名：リンク署名用紙

最高裁：期日は未定
乗員：最高裁第一小法廷
客室：最高裁第二小法廷